

会 議 録

会議名 (審議会名)	第44回相模原市地域包括支援センター運営協議会			
事務局 (担当課)	地域包括ケア推進課 電話042-769-9231 (直通)			
開催日時	令和6年7月25日(木) 午前10時30分～正午			
開催場所	ウェルネスさがみはらA館7階 視聴覚室			
出席者	委員	20人(別紙のとおり)		
	事務局	14人(地域包括ケア推進部長ほか13人)		
	その他			
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	1 開 会 2 会長・副会長選任 3 議 題 (1) 地域包括支援センターの運営状況等について (2) 地域づくりについて (3) 大野北第1地域包括支援センターの移転について 4 報 告 (1) 就労的活動支援コーディネーターの配置について (2) 若年性認知症相談窓口の開設について (3) チームオレンジサポートセンターの開設について 5 閉 会			

審 議 経 過

1 開会

2 会長・副会長選任

会長に水上潤哉氏（相模原市医師会）、副会長に久松信夫氏（学識経験者）が互選により選任された。

3 議題

事務局より資料に基づく説明及び事前質問等一覧にて市の考え方の説明を行った。

(1) 地域包括支援センターの運営状況等について

議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(坂本委員) 第9期相模原市高齢者保健福祉計画（以下「計画」という。）基本目標2の在宅医療について、津久井地区でオンライン診療の実証実験が今月から始まったが、オンラインシステム等について水上会長にお聞きしたい。

(水上会長) オンライン診療は、携帯電話やタブレットのモニターを介し、モニター越しで診療を行っている。津久井地区では、看護師が直接利用者宅に行き、身体所見をとり、医師がモニター越しに利用者の顔を見て話しができてよかったと聞いている。より多くの市民に限られた医療資源である在宅医療を効率的に提供できる新しいやり方だと考えている。

(坂本委員) 物理的な限界があるため、オンライン診療を組み合わせれば、診療が広げられるということか。

(水上会長) 津久井地区については、車での移動が非常に多く、年配の方が増えている事もあり、このようなシステムでより多くの方に医療を提供できるという事が可能であると考えている。

(坂本委員) 鹿児島県のある市で、介護者に月1万円を支給している自治体がある。一緒に介護者が住んでいなくても1万円の支給をしており、非常に良い制度だと認識している。老々介護で男性が介護する場合、わずか1万円であるが金銭が支給されることで、仕事という概念が持ち込まれ、老々介護が長続きすると考えるが、そういう事は検討されるか。

(在宅医療・介護連携支援センター長) 金銭の給付については、各自治体の判断により状況が異なると思います。最近では老々介護や更には認々介護（認知症のある方が認知症のある方を介護すること）もあり、介護する家族等の支援の充実を検討することが必要と考えています。

(坂本委員) ぜひ検討をお願いしたい。

(坂本委員) 地域包括支援センター（以下「包括」という。）を社会福祉法人に委託しているが、近年社会福祉法人の運営は軒並み赤字である。赤字の要因として、ショートステイの運営に課題があると思う。ショートステイは7～8割で運営しており、利用していない3割分を特別養護老人ホーム（以下「特養」とする。）やグループホームに転換できる施策を考えてもらえたら、社会福祉法人は助かると思うがいかがか。

(福祉基盤課長) ショートステイから特養への転換は、第8期相模原市高齢者保健福祉計画で一部整理し、対応致しました。今期では転換しない計画となっていました。高齢者福祉施設協議会でも話題があがっているため、今後も検討してまいります。

(2) 地域づくりについて

議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

(水上会長) 地域ケア会議は市民に密着した会議になるため、忌憚のないご意見を頂けた。私も、橋本の地域ケア会議に出席しており、地域コミュニティの関係性について、よく話題になっている。橋本地域は、マンションが多く表札もないため、隣に誰が住んでいるかわからず、自治会に入っている方も少ない。色々な課題がある中で、どのように市民を地域の活動に巻き込むかが課題になっている。たくさんの方の忌憚のない意見を各包括にも伝え、今後の活動や支援に活かしてほしい。

(3) 大野北第1地域包括支援センターの移転について

議題のとおり承認された。

4 報告

(1) 就労的活動支援コーディネーターの配置について

事務局より資料及び事前質問等一覧に基づき報告を行った。

(2) 若年性認知症相談窓口の開設について

事務局より資料及び事前質問等一覧に基づき報告を行った。

(3) チームオレンジサポートセンターの開設について

事務局より資料及び事前質問等一覧に基づき報告を行った。

●全体を通しての意見は次の通り

(坂口委員) 自治会でいきいき百歳体操(以下「体操」という。)を行っているが、当初50名いた参加者が、現在40名となっている。今問題なのが、ケガ等で入院し、要支援となった女性が2名いる。その女性は、デイサービスは迎えにきてくれる等、親切でとてもよいと話しており、体操に戻る事は非常に困難な状況である。

もう1名、足腰が弱くなった男性がいるが、短期集中予防サービスを使い、自分の趣味に戻った自治会の仲間もいる。やはり、最初が大切だと感じており、短期集中予防サービスでぜひ我々の方に戻して頂きたい。

(高齢・障害者支援課長) 令和6年10月から本格的に短期集中予防サービスを開始いたしますので、「今後も体が弱ってきた」「意欲がなくなってきた」という方がいらしたら、本サービスを紹介してほしいと考えています。

5 閉会

以 上

相模原市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

令和6年7月25日(金)

No.	委員名	ふりがな	選出団体	出欠席	備考
1	石井 和子	いしい かずこ	相模原市民生委員児童委員協議会	出席	
2	石川 寿美子	いしかわ すみこ	相模原市介護老人保健施設協議会	出席	
3	梶山 和美	かじやま かずみ	神奈川県看護協会	出席	
4	小林 輝明	こばやし てるあき	相模原市社会福祉協議会	出席	
5	坂口 芳郎	さかぐち よしろう	公募市民	出席	
6	坂本 洋三	さかもと ようぞう	相模原市22地区社会福祉協議会	出席	
7	佐々木 美保	ささき みほ	相模原市高齢者福祉施設協議会	出席	
8	澤田 弘之	さわだ ひろゆき	相模原市薬剤師会	出席	
9	竹田 幹夫	たけだ みきお	相模原市自治会連合会	出席	
10	田中 雄一郎	たなか ゆういちろう	相模原市歯科医師会	出席	
11	谷 樹人	たに たつる	神奈川県弁護士会	出席	
12	徳田 富美子	とくだ ふみこ	友知草の会	出席	
13	内藤 優子	ないとう ゆうこ	さがみはら介護支援専門員の会	出席	
14	畠山 秀美	はたけやま ひでみ	相模原市老人クラブ連合会	出席	
15	久松 信夫	ひさまつ のぶお	学識経験者	出席	副会長
16	布施 寛	ふせ ひろし	日本公認会計士協会神奈川県会	出席	
17	前田 京美	まえだ きょうみ	神奈川県社会福祉士会相模原支部	出席	
18	松崎 貴義	まつぎき たかよし	公募市民	出席	
19	水上 潤哉	みずかみ じゅんや	相模原市医師会	出席	会長
20	渡辺 真由美	わたなべ まゆみ	公募市民	出席	

五十音順